

平成26年度 第2回明舞まちづくり委員会 報告

日 時 平成 27 年 3 月 20 日 (金) 17 時 00 分～19 時 00 分 (於：松が丘ビル 3 階 大会議室)
事務局 兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課

明舞団地の再生について情報交換や意見交換を行う「明舞まちづくり委員会」を開催しました。

■ 明舞センター地区再生事業について

明舞プラザ竣工（予定）に伴う、リニューアル記念イベントの実施について住宅供給公社から説明がありました。また、スプリングテラス明舞のリハビリ特化型デイサービスについては、4月から順次オープンしていく旨、同公社から報告されました。

■ コミュニティ再生事業の取組について

平成 26 年度事業として、「明舞団地まちびらき 50 周年記念誌」の披露や、学生シェアハウス事業で4月から新たに3名の学生が入居予定である旨、兵庫県住宅政策課から報告されました。

また、平成 27 年度事業では、「明舞団地再生計画」の見直しにかかる検証や、まちの魅力創出事業として DIY によるリフォームや福祉用具の体験学習を実施する旨報告がありました。

■ 安心地区関係の報告について

明舞安心地区推進協議会から平成 27 年度の人員の確保や「安心ミニデイ」の実施について、検討中である旨報告がありました。また、要介護認定の有無に係わらず、在宅サービスを提供する必要があるとの認識が必要で、相互扶助の地域コミュニティづくりを進めていくとの意向が示されました。

■ 明舞団地まちびらき 50 周年記念事業について

平成 26 年度の「明舞団地まちびらき 50 周年記念事業」について、総合事務局から結果報告がありました。全 63 イベントが実施され、うち 58 イベントが地域主体のイベントでした。各イベントの報告では、自治会の垣根を越えた参加があったことなど、大きな盛り上がりがあったことが紹介されました。また、明舞熟議の中で熱く交わされた意見も披露され、新たなまちづくりへの機運が高まりました。

■ 意見交換

地域主体の取り組みを更にもう一步進めていくことや、30～40 代のこれからの明舞団地を支えていく世代をうまく取り込むことが重要であるといった意見が出されました。

■ 基調講演・まとめ

神戸商科大学 小森名誉教授の基調講演がありました。過去 25 年を振り返り、人々は物質的な豊かさよりも環境を重視するようになってきたが、これからの 25 年は高齢化への対応に迫られていることが示されました。明舞団地のまちづくりが、“行政主導”から“地域主体”に変わったことに触れつつ、「今後の地域社会を考える上で、明舞団地はまさに先進例になりうる」と期待が寄せられました。

今回の委員会では、50 周年記念事業の総括を行い、次なる 50 周年に向けて、まちづくりの機運を高めることができました。



※ 会議の詳細については、兵庫県HP

「明舞団地のまちづくり情報発信基地」で発信されます。そちらをご覧ください。